

MATSUDO CITY MONTHLY NEWS 松戸市感染症情報



発行日：2025年8月13日
発行：健康医療政策課
次回は9月10日 発行予定

表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				ヘルパンギーナ			
	7/7~ 7/13	~7/20	~7/27	~8/3	7/7~ 7/13	~7/20	~7/27	~8/3	7/7~ 7/13	~7/20	~7/27	~8/3	7/7~ 7/13	~7/20	~7/27	~8/3
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	4.05	4.77	8.18	8.73	94.68	97.45	85.09	92.91	9.23	7.69	6.15	6.77	0.31	0.54	1.08	2.00
定点医療機関数	22				22				13				13			
前週比	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↑
コメント	年代別の患者の割合に大差はありませんでした。 0歳から29歳……31.3% 30歳から59歳……35.4% 60歳以上……33.3%				せき、喉の痛み、呼吸困難、鼻水、鼻づまりのいずれか1つの症状があり、発症から10日以内の急性的な症状で、かつ医師が感染症を疑う外来症例です。				吐き気や嘔吐の症状がある時は、脱水を予防するために、スプーン1杯程度または一口ずつ水分を5分おきに摂りましょう。				子どもを中心に夏に流行するウイルス性の感染症で、急な発熱のほか、口の中の水ぶくれやのどの痛みなどの症状が出ます。			
千葉県	3.67	4.84	5.91	8.27	62.84	64.94	56.86	62.36	4.92	4.87	3.42	4.27	0.56	0.77	0.98	1.21
前週比	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑
東京都	2.15	2.72	3.44	4.45	54.48	54.58	49.49	52.99	6.14	6.26	4.88	5.41	0.91	1.19	1.42	1.86
前週比	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑

新型コロナが増加しています

松戸保健所管内では、6月中旬から新型コロナの定点報告数が増加しています。昨夏は5月頃から約2か月増加が続いたため、今年の夏も感染動向に注意が必要です。
お盆期間中は休診の医療機関が増えます。かぜ症状等の体調不良時に自宅で療養できるよう、のど越しの良い食品や市販薬などを用意しておくことで安心です。

療養の推奨期間は発症日を0日目として5日目まで

検査で陽性となったら、発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことから、発症日（無症状の場合は検体採取日）を0日目として5日間は外出を控えることが推奨されています。
※5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまで。



熱があるときは水分を積極的に摂って体を休める

- ① 熱が上がっている時(寒気がする時)は、体温上昇を助けるために、掛け布団を追加し、湯たんぽなどを使用します。
- ② 熱が上がってきた時(体が熱い時)は、布団を減らし、湯たんぽなどの使用をやめます。保冷剤をタオルなどで巻き、首、脇の下など太い血管のある場所を冷やします。
- ③ 熱が下がっている時(汗が出始めた時)は、積極的に水分を摂りましょう。

休日等に症状がつかい時は

市ホームページ「夜間・休日当番医」をご確認ください。受診の前に必ず各医療機関に電話連絡をお願いします。当番医、診療科目が都合により変更することがあります。



市ホームページ

新型コロナの入院 約8割が60歳以上

直近の県内の基幹定点医療機関(9機関)の入院患者概況は、78.4%が60歳以上でした。高齢者は新型コロナにかかると重症化しやすいため、帰省等で高齢者と会う場合は体調を整えてからにしましょう。
「換気」「手洗い・手指消毒」「せきエチケット」などの基本的な感染対策を心がけましょう。

お盆の会食時は換気を忘れずに

- 家庭用エアコンは換気機能がついていない種類が多いため、窓を開けて換気をしましょう。
- 2方向の窓を開けたり、換気扇を使用すると換気効果が高まります。



換気状況を確認できるCO2モニターを無料で貸出ししています。人が集まる機会などにご利用ください。

松戸市 CO2モニター

検索

海外旅行後は2週間麻しんの症状に注意を

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。
海外での流行が報告されているため、帰国後2週間程度は高熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。

症状がみられた場合には、医療機関に電話等で麻しんの疑いがあること伝え、医療機関の指示に従いましょう。